

対象年度		令和 2年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート												
事務事業名		ウォーキング推進事業						予算事業名		運動普及推進事業費						
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	健康増進法							
				04	01	03	2401	経常経費	根拠法令							
総合計画体系		1ともに支えあい，安心して暮らせる社会福祉の充実(保健・福祉)							事業の区分		主要事業					
		1-1健康で安心して暮らせる保健福祉の充実（健康・医療）														
		①健康づくりの推進							担当課係等		健康増進センター					
1健康づくり活動の推進							健康増進係									
事業期間		継続（平成18年度～ 年度）														
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】								
市民が手軽にできる有酸素運動であるウォーキングを日常生活に取り入れ心身の健康を維持できる。								平成15年に健康増進法が施行され，市町村に健康づくりへの多様な対策が求められるようになった。								
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】								【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】								
心身の健康づくりのためウォーキングを推進する。 ・ウォーキングイベント（講演会・ウォーキング）の実施 ・いばらきヘルスロードの活動推進 ・いばらきヘルスロードの周知・看板作成								20歳以上の市民								
								【事業をとりまく環境の変化】 茨城県では，県民が家庭，地域，職域において家族や仲間とウォーキングを行い，健康増進にチャレンジすることを目的として「いばらきヘルスロード」を265コース指定している（平成26年3月末現在，結城市は3コース認定）								
【令和 2年度 事業内容】				【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】								
・ウォーキングイベント（講演会・ウォーキング）の実施 ・いばらきヘルスロードの活動推進 ・いばらきヘルスロードの周知				・ウォーキングイベント（講演会・ウォーキング）の実施 ・いばらきヘルスロードの活動推進 ・いばらきヘルスロードの周知				・ウォーキングイベント（講演会・ウォーキング）の実施 ・いばらきヘルスロードの活動推進 ・いばらきヘルスロードの周知								
■事業費																
				H30年度		R01年度										
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0									
	県		支	出	金	0	0									
	地		方		債	0	0									
	そ		の		他	0	0									
	一		般	財	源	33	56									
歳入計（千円）				33		56										
歳 出 内 訳	節（番号＋名称）				金額（千円）		金額（千円）									
	11	需用費			1		1									
	13	委託料			32		33									
	14	使用料及び賃借料			0		22									
歳出計（千円）（A）				33		56										
伸び率（％）						69.69										
備考	総合計画49ページ 予算書 103ページ															

平成30年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H30年度	R01年度	R02年度
活動 指標	ウォーキングイベントの開催	回	目標	1.00	1.00	2.00
	健康づくりのきっかけとして手軽にできるウォーキングイベントを開催する		実績	1.00	0.00	0.00
	いばらきヘルスロードのコース数	コース	目標	5.00	7.00	7.00
	ウォーキングをより身近に、安全に実施できる「いばらきヘルスロード」の登録コース数		実績	3.00	0.00	0.00
成果 指標	ウォーキングイベント延べ参加者数	人	目標	120.00	50.00	100.00
	同一年度内におけるウォーキングイベントへの参加延べ人数		実績	31.00	0.00	0.00
	週に3回以上ウォーキングをする人の割合（イベント参加者）	%	目標	60.00	60.00	60.00
	ウォーキングイベント参加者におけるウォーキングを習慣化した人の割合（ウォーキングを習慣化した人／イベント参加者数）		実績	32.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	手軽にできる有酸素運動としてウォーキングイベントを実施することで、市民の健康意識の醸成並びに健康増進・維持に寄与するものであり必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	市民の健康づくりの支援のために自治体が行うべきである。
	手段の妥当性	A 妥当である	現在の手段が一般的であり、妥当である。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	ウォーキングイベントを効果的に実施するため、定員を設けた。
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	イベント参加者にはリピーターの者も多く見受けられる。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	参加者の満足度は高く、ウォーキングの習慣化につながっている。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	ウォーキングイベントへの参加者において、既にウォーキングが習慣化している者も3程度見受けられる。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
健康寿命の延伸のためにも、だれもが気軽に実施できるウォーキングを進めることは重要であるとする。従ってウォーキングを実施する市民の増加とウォーキングしやすい道路の整備・選定が必要と考える。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
魅力あるウォーキングコースの選定し、誰もが気軽にウォーキングできる環境を整えていく。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 歩きやすく、魅力的なウォーキングコースを選定し、広く市民に周知し、利用者が増加することで、市民の運動習慣、健康増進の一助とする。
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。